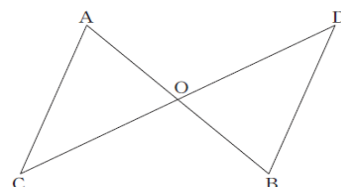


【④ - 2-2 証明の進め方】

氏名

- ① 右の図のように、線分ABと線分CDがそれぞれの中点Oで交わっているとき、次のことがらが成り立ちます。
ことがら「 $AO=BO$ ， $CO=DO$ ならば $AC=BD$ である。」
 太郎さんは、**ことがら**を証明しようとしています。



- (1) **ことがら**の中で、仮定にあたる部分をすべて書きなさい。
- (2) 太郎さんは、**ことがら**の中の仮定に加えて、もう1つ等しいといえる関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」を見つけました。このことが成り立つ根拠として最も適切なものを、下のア～エの中から1つ選びなさい。

ア 同位角は等しいから

イ 錯角は等しいから

ウ 対頂角は等しいから

エ 三角形の内角の和は 180° だから

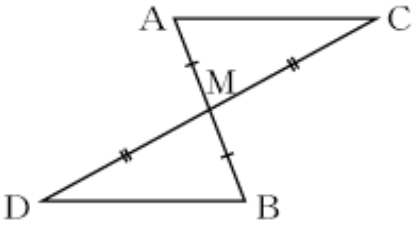
- (3) 太郎さんは、**ことがら**の仮定と、(2)で見つけた等しい関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」から、三角形の合同条件を使って「 $\triangle AOC \equiv \triangle BOD$ 」を示し、**ことがら**①を証明しました。

さらに太郎さんは、**ことがら**の証明を振り返り、「 $AC=BD$ 」以外にも、角の大きさの関係について証明できることを見つけました。太郎さんが見つけたと考えられることの中から1つを、記号を使ってかきなさい。

(1)	
(2)	
(3)	

2 みきさんは、次の問題を考えています。

右の図のように、線分ABと線分CDがそれぞれの中点Mで交わっています。
このとき、 $AC \parallel DB$ となることを証明しなさい。



みきさんは、下のような**証明の方針**を考えました。この**証明の方針**にもとづいて、 $AC \parallel DB$ となることを下のように証明しました。**証明の方針**のア～エに当てはまる角や三角形をかきなさい。

証明の方針

- 1 $AC \parallel DB$ を証明するためには、 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ (錯角が等しい) を示せばよい。
- 2 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ を示すためには、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ を示せばよい。
- 3 仮定の $AM = BM$, $CM = DM$ を使うと、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ が示せそう

【証明】 $\triangle AMC$ と $\triangle BMD$ において、

仮定より $AM = BM \cdots \text{①}$ $CM = DM \cdots \text{②}$

対頂角は等しいから $\angle AMC = \angle BMD \cdots \text{③}$

①②③から、2辺とその間の角がそれぞれ等しいから $\triangle AMC \equiv \triangle BMD$

合同な図形の対応する角は等しいから

$\angle MAC = \angle MBD$

したがって、錯角が等しいから、

$AC \parallel DB$

ア	
イ	
ウ	
エ	

レビュー問題

中学校2年 数学

(月 日)

【④ - 2-2 証明の進め方】

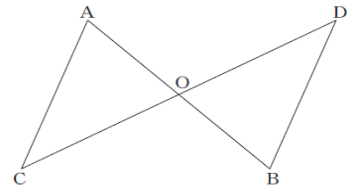
氏名	解答
----	----

1 右の図のように、線分ABと線分CDがそれぞれの

中点Oで交わっているとき、次のことがらが成り立ちます。

ことがら「 $AO=BO$, $CO=DO$ ならば $AC=BD$ である。」

太郎さんは、ことがらを証明しようとしています。



(1) ことがらの中で、仮定にあたる部分をすべて書きなさい。

○○○ならば, 仮定	□□□ 結論
---------------	-----------

(2) 太郎さんは、ことがらの中の仮定に加えて、もう1つ等しいといえる関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」を見つけました。このことが成り立つ根拠として最も適切なものを、下のア～エの中から1つ選びなさい。

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| ア 同位角は等しいから | イ 錯角は等しいから |
| ウ 対頂角は等しいから | エ 三角形の内角の和は 180° だから |

(3) 太郎さんは、ことがらの仮定と、(2)で見つけた等しい関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」から、三角形の合同条件を使って「 $\triangle AOC \equiv \triangle BOD$ 」を示し、ことがら①を証明しました。

さらに太郎さんは、ことがらの証明を振り返り、「 $AC=BD$ 」以外にも、角の大きさの関係について証明できることを見つけました。太郎さんが見つけたと考えられることの中から1つを、記号を使ってかき

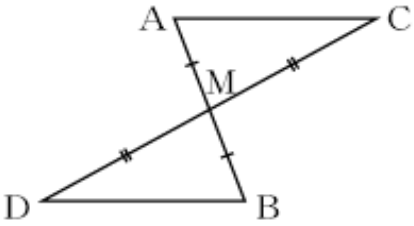
なさい。

証明したら終わりではなく、証明された事柄から、新しくいえることはどんなことなのか、条件を変えたらどうなるのか、などと考えることが大切です。

(1)	$AO=BO$ $CO=DO$
(2)	ウ
(3)	$\angle CAO = \angle DBO$ ($\angle ACO = \angle BDO$)

2 みきさんは、次の問題を考えています。

右の図のように、線分ABと線分CDがそれぞれの中点Mで交わっています。
このとき、 $AC \parallel DB$ となることを証明しなさい。



みきさんは、下のような**証明の方針**を考えました。この**証明の方針**にもとづいて、 $AC \parallel DB$ となることを下のように証明しました。**証明の方針**のア～エに当てはまる角や三角形をかきなさい。

証明の方針

- 1 $AC \parallel DB$ を証明するためには、 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ (錯角が等しい) を示せばよい。
- 2 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ を示すためには、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ を示せばよい。
- 3 仮定の $AM = BM$, $CM = DM$ を使うと、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ が示せそう

【証明】 $\triangle AMC$ と $\triangle BMD$ において、
 仮定より $AM = BM \cdots \text{①}$ $CM = DM \cdots \text{②}$
 対頂角は等しいから $\angle AMC = \angle BMD \cdots \text{③}$
 ①②③から、2辺とその間の角がそれぞれ等しいから $\triangle AMC \equiv \triangle BMD$
 合同な図形の対応する角は等しいから
 $\angle MAC = \angle MBD$
 したがって、錯角が等しいから、
 $AC \parallel DB$

ア	$\angle MAC$ ($\triangle AMC$)
イ	$\angle MBD$ ($\triangle BMD$)
ウ	$\triangle AMC$
エ	$\triangle BMD$

2つの直線が平行であることを証明したいときには、根拠として「錯角が等しい」や「同位角が等しい」を使えませぬ。
 証明したい事柄(結論)を示すためにはどんなことが示せればいいのか。それを示すためには、さらにどんなことがいえればいいのか、と結論からさかのぼるように逆に考えていくことも、証明を考える大切な方法になります。